



議会だより

9月定例会号

令和3年10月25日発行

No.157

# こうみ



町のお金はどのように使われました ②

令和2年度決算審査意見書 ④

9月議会 ー第3回定例会ー ⑥

こんなことが決まりました ⑧

議案質疑 ⑨

一般質問 ⑩

編集後記 ⑩

きかせて みんなの夢

みなさんの未来に寄り添うために

※長湖コカナダモの除去作業の様子

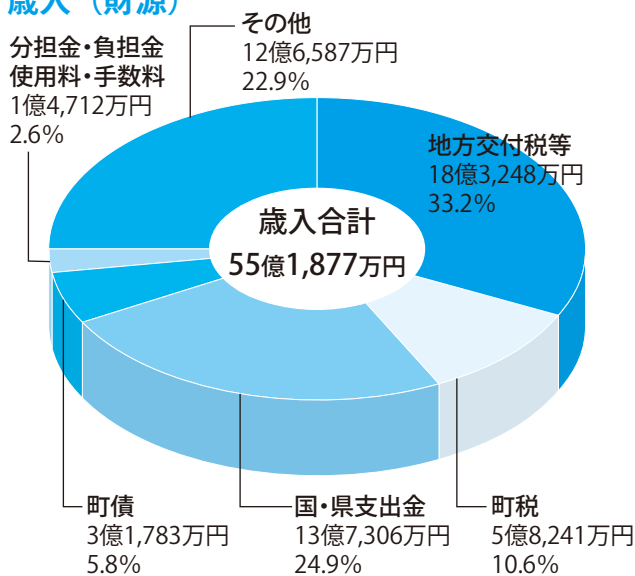
# ように使われました 成果を認定

## ●令和2年度決算概要

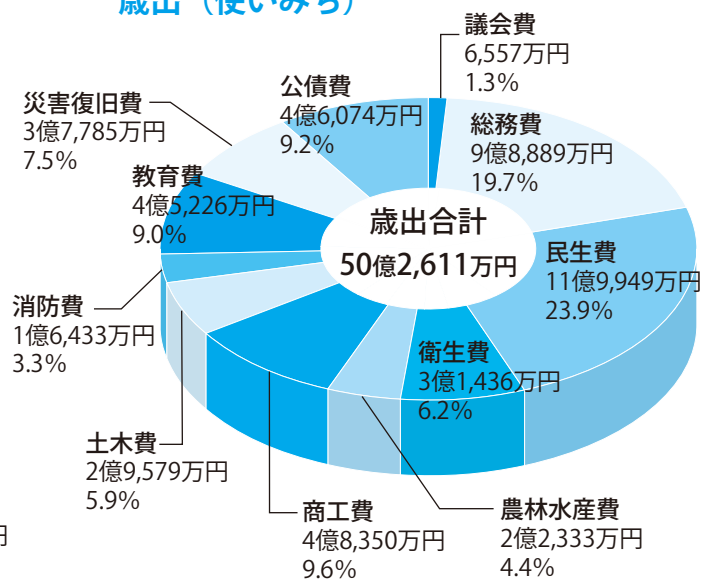
一般会計の歳出は約50億2611万円となり、令和元年度と比べて9億2841万円22.7%増となりました。歳出の主なものは、新型コロナウイルス感染症予防対策各種事業、緊急経済対策として特別定額給付金支給、事業者支援、商品券交付事業、観光宿泊者支援事業、その他、キャンプ場サニタリー棟建設、庁舎敷地購入、松原湖遊歩道整備、小学校での1人1台タブレット購入、令和元年度から繰越となった災害復旧工事などです。



### 歳入（財源）



### 歳出（使いみち）



## わがや 小海町家の 家計簿

～小海町の令和2年度決算を  
500万円の家計に例えると～

### 収入

給与収入（町税）	53万円
一時的な手当	
（譲与税、各種交付金、国・県支出金他）	160万5千円
パート家賃収入	
（分担金及び負担金、使用料及び手数料等）	13万円
預貯金の取り崩し（基金繰入金）	36万円
前年度からの繰越金（繰越金）	42万5千円
親からの援助（地方交付税）	166万円
住宅、車、生活資金のローン（町債）	29万円
合計	500万円

### 支出

食費（人件費）	74万5千円
医療費（扶助費）	19万円
光熱水費や生活消耗品など（物件費）	80万5千円
住宅の増改築や車のローン返済（建設事業費）	56万5千円
住宅、車のローン返済（公債費）	46万円
子どもへの仕送り（他会計への繰出金等）	34万円
自治会費などへの支出（補助費等）	115万円
維持補修費他（災害復旧費他）	46万5千円
預貯金他（積立金他）	28万円
合計	500万円

# 令和2年度

# 町のお金はこの

## 令和2年度一般会計決算

歳入 55億1,877万円      歳出 50億2,611万円  
差引額 4億9,266万円

### 〈一般会計〉 おもな使いみち

町民1人当たり  
1,124,912円  
(人口4,468人)

#### 総務費

- キャンプ場サニタリー棟建設 3,456万円
- 庁舎敷地購入 1億6,596万円
- 憩うまちこうみ事業 1,038万円

#### 民生費

- 社会福祉総務費 (福祉医療他) 7億2,900万円
- 保育所エアコン設置工事 1,595万円



#### 衛生費

- 健診・各種予防接種 2,596万円
- ごみ収集委託費 3,410万円



#### 農林水産費

- 林道費 1,108万円
- 耕作条件改善事業 2,977万円



#### 商工費

- コロナ支援事業 6,100万円
- プレミアム商品券助成・商品券交付事業 1億2,445万円
- 住宅リフォーム・店舗助成事業 2,938万円

#### 土木費

- 道路維持修繕費 1億3,357万円
- 道路改良舗装費 1億4,100万円



#### 消防費

- 小型ポンプ積載車購入費 547万円
- 新型コロナウイルス感染症予防対策費 916万円



#### 教育費

- 小海小学校改修、プール修繕 5,415万円
- スケートセンターリンク修繕費 610万円
- GIGAスクールタブレット 1,019万円

#### 災害復旧費

- 災害復旧工事費 1億4,442万円
- 農林施設災害復旧工事費 2億3,342万円

### 各会計 特別会計 決算額

国民健康保険  
事業特別会計  
歳入 5億7,364万円  
歳出 5億4,337万円

介護保険事業  
特別会計  
歳入 6億7,451万円  
歳出 6億6,578万円

中学校組合会計決算額  
歳入 1億8,134万円  
歳出 1億7,904万円

後期高齢者医療  
特別会計  
歳入 7,827万円  
歳出 7,823万円

水道事業会計  
(収益的収支)  
歳入 9,198万円  
歳出 9,125万円



## (2) 収入未済額解消について

全体的に収入未済額圧縮に努力されたことが伺える。負担の公平と財源確保の観点から、税、保険料・使用料等に収入未済額が発生することは極めて重要な問題である。諸般の事情が背景にあるが、新たな収入未済の発生を防ぎ、収入未済額の更なる縮減に努められたい。

また、不能欠損処理した案件については十分精査した上の処理であるとする。今後も債務者や滞納者の生活実態や財産調査を的確に行い、公平性の観点から適切な対応をとり、計画的で適正な徴収に心掛けられたい。

## (3) 施設の運営管理等について

ア 観光交流センター八峰の湯については、新型コロナの影響を受け、4月、5月は休館を余儀なくされ、入場者も約10万人と大幅な減少となったが、コロナ対策や営業努力が見受けられた。松原湖高原の観光拠点施設として、また町民の健康増進施設として重要な役割を果たしている。今後も住民福祉の向上と、合理的な経営によって一層の収支改善に努めると共に令和4年度の改修に向け詳細な計画を立てるとともにより良い施設運営管理に努められたい。

イ 美術館については、コロナ禍で夏の「スズキコージ展」が中止となったが、前後の展覧会と調整を行い、年間を通して展覧会を行うことができた。教育活動の一環として、中学校への教育普及活動、福祉関係や一般の方を対象に文化芸術の普及活動を年間16回行い芸術文化の普及に寄与している。また、令和2年度から4カ年計画で大規模修繕が行われているが、今後も適切な施設管理に努められたい。

ウ 松原湖高原スケートセンターについては、近年は特に国際大会、全国大会で松原湖高原スケートセンター出身者が活躍しており、小海町にとっては長い歴史と地域文化として親しまれている。しかし、毎年多額な修繕費を要しており厳しい運営状況となっている。冷凍機の更新については大変高額であり、財源との兼ね合いもあるので十分検討の上、万全な計画を立てられたい。

## (4) その他事業について

ア 憩うまちこうみ事業は、令和2年度で5年が経過した。令和3年3月現在、協定企業は14社である。令和2年度はコロナ禍の影響を受けたが、協定企業社員等のセラピー体験やオンラインサロン等を実施し、この事業を推進された旨の報告だった。そのような状況の中、憩うまちこうみ協議会の規約が令和2年5月27日から施行され、この規約によれば、この協議会は「憩うまちこうみ事業の推進と運営を行い、地域振興に資すること」を目的とし、その経費は「憩うまちこうみ事業の収益をもって充てる。」と規定している。そして令和2年のこの協議会の収支決算報告書には、この事業による収入や、支出ではセラピスト等への支払いが計上されている。令和2年度、町は憩うまちこうみ事業に10,393,102円投じ、セラピスト養成等を実施している。この協議会の「憩うまちこうみ事業」と町が平成28年度から始めた「憩うまちこうみ事業」は同じ事業なのか。今回は決算審査での指摘により協議会の会計報告を受けたが、この事業は町の予算で実施しており、総計予算主義に則り、その収支については町の予算に計上しなければならないものである。その収益を民間団体が得る根拠は何か。また、条例等に適した妥当なことなのか。町と憩うまちこうみ協議会の関係はいかなるものか。議会等に報告・承認を得ているのか。町はかねてから、この事業を担う組織の育成を目指しており、この協議会がこの事業を担うなら、町から委託等を受け自立し、自走できる環境を早急に整備されたい。

イ チャレンジ支援金について、要綱では事業の募集は特段に事情があると町長が認める者を除き申請は5月31日までとなっている。しかし、令和2年度は5月までの申請が1件、残り8件はそれ以降となっている。随時申請を受付するならば要綱の変更をされたい。しかし、本来ならば5月31日までに申請し、じっくりと審査する必要があると思われる。いずれにせよ統一し周知徹底されたい。

ウ 移動販売事業については半年ごとに訪問日時の見直しを行ったり、コロナ対策による食事券や商品券により新規顧客の獲得、また令和2年度から北相木村まで販売範囲を広げるなど営業努力がされている。運営している協力隊の任期が令和4年3月で満了を迎えるにあたり今後の運営について慎重に検討されたい。

エ 3密を避けやすいキャンプの需要が高まる中、新たにサニタリー棟が建設された。キャンプ場における衛生設備の充実度はキャンプ場を選択する際に重要視される。今後もキャンプ場利用者にとって利便性がよく、清潔なキャンプ場運営を心掛けられたい。

オ 鞍掛豆のブランド化事業は、昨年度に比べ作付け面積、収穫量ともに大幅に増えた。高付加価値商品の開発とともに、更なる市場拡大と、町外に向けた発信、販売促進を推進されたい。

カ ワイン用ぶどう畑は令和2年度に開始されたばかりの事業である。苗木を植えてからワインになるまで、またワイナリーを作るまでのスケジュールを立て、生産者の支援に尽力されたい。

キ 小学校の計画的な大規模改修も令和2年度で終了となり、体育館の床の改修、外装塗装、バス待合所が整備され教育環境の形成が図られた。また、国のGIGAスクール構想により児童1人1台にタブレットが配布された。今後も電子黒板や1人1台のタブレットでICT教育を推進されたい。

# 令和2年度歳入歳出決算審査意見書

監査委員 新井 進一  
監査委員 篠原 伸男

## 1 審査の概要

### (1) 審査の期間

- ・実地審査 令和3年7月21日(水)
- ・書面審査 令和3年7月29日(木)、30日(金)、8月12日(木)

### (2) 審査の手続き

この決算審査に当たっては、以下の点に主眼を置き、各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、決算計数及び執行状況の確認・分析を行い、財政、資金運用、財産管理及び主要事業の各状況について、それぞれの関係諸帳簿及び証書類との照合並びに実地審査を行うとともに、担当係から決算についての説明を聴取し、併せて定期監査及び例月出納検査結果も考慮して実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書並びに実質収支に関する調書の計数はそれぞれの関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

予算の執行に関しては、目的を適正に達成するため内部統制の基、迅速で誠実かつ確実な事務処理になお一層努力されたい。その内容は後述の意見・総括のとおりである。

## 3 意見

### (1) 総括的意見

#### ○歳入について

町税は、全体として対前年度4,799千円（0.8%）増加であり、地方消費税交付金は、対前年度19,468千円（22.0%）増であった。地方交付税は、対前年度145,563千円（7.4%）減で、この減額は主に台風19号災害の特別交付税の減によるものである。また国・県支出金は、対前年度905,642千円増となり、いずれも新型コロナウイルス感染症対応によるものである。また、令和2年度より法人事業税交付金が新たに創設された。繰越金は、対前年度155,323千円（49.1%）増であり、これは令和元年度普通繰越金が335,306千円、繰越明許費分が136,249千円によるものである。予算計上は今後も過大に見込まないよう留意されたい。

歳入全体としては、対前年度で949,526千円（20.8%）増となった。引き続き的確で適正な歳入の確保に努められたい。

#### ○歳出について

継続事業に加え、新型コロナウイルス感染症予防対策として、町内の公共施設蛇口の自動水栓化、PCR検査費用の補助金、ワクチン接種体制の整備等が行われ、緊急経済対策として特別定額給付金の支給、事業者支援、商品券交付事業、観光宿泊者支援事業が行われ、その他にキャンプ場サニタリー棟建設工事、庁舎敷地購入、松原湖遊歩道整備、1人1台のタブレットの購入などが実施された。

新型コロナ対策で中止されたイベントや行事も数多くあり、コロナ対応に影響を受けた令和2年度であったが、引き続き総合戦略の目標達成に向け、経済対策、若者定住促進、安全安心な町づくり、町民が健康で豊かな暮らしができる支援等限られた財源を有効に活用し、事業効果を検証しつつ積極的に進められたい。

#### ○財政指数等について

公債費比率は、交付税措置分を除いた元利償還金と標準財政規模の割合で、この比率は低下傾向にあり、財政健全化が図られている。引き続き交付税等の裏付けのある起債により健全化を図られたい。

自主財源と依存財源の割合は健全化傾向であり、経常収支比率は、普通交付税が前年度より87,562千円増えたため前年度比0.1%低い81.1%となった。

常に効率的な行政運営や町の果たすべき役割を踏まえ持続可能な財政運営のため、行政・財政改革を着実に推進されたい。

# 9月議会 第3回定例会で こんなことが決まりました

## 令和3年度一般会計補正予算（第4号） 全員賛成で可決

5億1,287万円を追加補正 総額45億1,321万円

### 【歳出の主なもの】

●本間村上団地用地取得	1億5,700万円
●地域活動支援センターひまわり委託	330万円
●そば粉加工委託	295万円
●農道水路修繕工事	200万円
●新型コロナウイルス対応事業者経営継続支援金	698万円
●プレミアム商品券	2,150万円
●長湖水草駆除	400万円
●道路維持修繕	2,200万円
●第4分団芦谷車庫移転	451万円
●コロナ対策通学バス借上げ	169万円

## 令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

2,345万円を追加補正 総額 5億5,445万円

## 令和3年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

1,234万円を追加補正 総額 6億9,841万円

## 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 全員賛成で可決

93万円を追加補正 総額8,023万円

## 建設工事請負契約の締結について 全員賛成で可決

大畑町営住宅建設工事 契約金額 9,438万円 有限会社 陸大

## 建設工事請負契約の締結について 全員賛成で可決

道路改良工事 大畑 契約金額 5,115万円 株式会社 黒澤組

令和3年第3回小海町議会定例会が9月1日から9月17日までの17日間の会期で開催されました。条例制定案2件、事件案件3件、補正予算案4件、決算認定5件の合計14件で審議が行われすべての案件が可決・認定されました。一般質問では、7名の議員により行われ、町の考えをただしました。

## 条例改正等

小海町過疎地域持続的発展計画の策定について

過疎対策事業債などの財政上の特別措置を受けるために、策定する必要があり、持続的発展のための基本的な計画です。

全員賛成で可決

小海町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が新たに制定されたことにより、地域経済の活性化を目的として、固定資産税の課税免除に関する規定を整備するものです。

全員賛成で可決

小海町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について

災害対策基本法に定める、避難行動要支援者名簿の整備と名簿情報の提供を規定するもので、災害時の被災者を最小限に留めるための条例整備です。

全員賛成で可決

陳情

● 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする陳情

賛成多数で採択し、衆参両議長、関係大臣に意見書を提出しました。

● 消費税インボイス制度中止を求める陳情

賛成多数で採択し、内閣総理大臣に意見書を提出しました。

● 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること

みなし採択し、衆参両議長、関係大臣に意見書を提出しました。

議員発議

● 新型コロナウイルス感染症から国民の命を守ることを最優先にした対応を求める国への意見書提出について

賛成多数で採択し、関係大臣に意見書を提出しました。

各常任委員会からの要望

民生委員等任委員会からの要望

● 小海町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定にあたっては個人情報、プライバシーの保護に十分配慮し、予期せぬ災害に對し有効に名簿を活用されたい。

○町長

避難行動要支援者名簿の開示活用にあたっては、個人情報、プライバシーの保護に十分留意し、あらゆる災害に對し、犠牲者を一人も出すことなく、被害や被災者を最小限に留める対応をして参ります。

予算決算常任委員会からの要望

● 議会の議案質疑で要求された資料については速やかに提出されたい。

○町長

要求される資料につきまして、すぐに出せるものと、作成に時間を要するものがありますので、その都度対応させていただきたくご理解をお願いします。

第3回定例会で賛否が分かれた議案

(○は賛成 ×は反対)

(議案名等)	(議員氏名)											議長職
	黒澤敦史	鷹野文則	篠原哲雄	井出和人	渡邊晃子	的埜美香子	井出幸実	品田宗久	小池捨吉	篠原伸男	篠原義從	
発議第3号 新型コロナウイルス感染症から国民の命を守ることを最優先にした対応を求める国への意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情2号 辺野古新基地の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	
発議第4号 辺野古新基地の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	
陳情第3号 消費税インボイス制度の中止を求める陳情	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第5号 消費税インボイス制度の中止を求める意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

# 議案質疑

令和3年度一般会計補正予算(第4号)関係

**Q** 本間村上団地の補償費の内容は？

**A** 農機具倉庫等の移転に関するものです。

**Q** ワクチン接種会場の空調整備とは？

**A** 総合センターの接種会場内に簡易エアコン2台設置のレンタル料と設置に伴う電気工事等です。

**Q** 道路維持費が増額になった理由は？

**A** 7月から開催されております地区懇談会で出ました土木関係の要望にきめ細かく対応するためです。

**Q** 経営継承発展等支援事業とは？

**A** 新しい事業で、農業後継者に対する補助制度です。加工に取り組む、青色申告などいくつか条件があります。

**Q** 登山道の修繕とは？

**A** みどり池から中山峠の間の登山道や栈橋の修繕を行います。

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)関係

**Q** 繰越金が多くあるが、保険税の減額の検討は？

**A** 国、県への返還金や将来への備えが必要ですので、審議会で検討しましたが、今回は保険税率を据え置きにさせていただきました。



令和2年度一般会計歳入歳出決算関係

**Q** 会計年度任用職員に制度が変わり、どのような変化があったか？

**A** 労働時間に対する時間単価が上がりました。また休暇などの権利が改善されました。

**Q** 佐久穂町連携事業の実績は？

**A** カタログギフトの共同制作、若手職員同士の研修を実施し、スキルアップを図りました。

**Q** 憩うまちこうみ事業内容は？

**A** 都会の企業の社員がこちらに来て、セラピーを受けるなど福利厚生として実施していただき、関係人口を増やしていくものです。

**Q** 有休農地対策事業(ワインぶどう)の状況は？

**A** まだ実はなっておりませんが、生育は順調にしています。

**Q** 小海線沿線地域活性化協議会とは？

**A** JR小海線沿線の市町村及び観光関係の団体で構成されておりまして、小海線に絡んだイベントの実施や広報活動を行っております。





# 問 アルルの譲渡を受け、 商店街と町の活性化を

答 町長 関係各所と調整を図り前向きに捉えたい



黒澤 敦史議員

新型コロナウイルス感染症に関する住民への情報提供について

**問** 今後、新型コロナウイルスと共存しなくてはならない社会において、自分はどう対処していくかを各人がしっかりと考えることが必要。そのためには、行政がより正確で十分な情報提供を行わなければならない。大阪府泉大津市の南出賢一市長の取り組みが良い例だと思うが、新型コロナウイルスやワクチンへの理解を深めるため、分かりやすく正確で十分な情報提供の実施を考えていただきたい

い。

**町民課長** 町民の皆様にも少しでも分かりやすい情報を提供することが必要であると思います。県、地域振興局と連携を取りながら町民の皆様詳しい情報を提供できるように相談してまいります。

## 休日夜間議会の 導入に関して

**問** 様々な職業、立場からより多くの人が議員になることができる仕組みを用意することが町民のためになる。日程

の一部を休日夜間に行うことや、効率的な運用による日程の短縮によって時間のハードルを下げ、議員のなり手を増やすことは町を元気にするために必要なことだと考えるが、町長のお考えは。

**町長** 議会側からそのような意見が多く出てくれば応じるつもりです。

## 駅前シヨッピング センターアルルの 町への譲渡について

**問** アルルから町へ建物譲渡の申し出がなされてからしばらく時間が経っている。アルルは商店街のシンボルであり、駅と一体化した町の玄関で、この町が南佐久の中心だという証である。またアルルは簡単な間仕切りと町の意思で、佐久穂町東町のように魅力的な新規の出店を促進できる。アルルの町への譲渡は商店街

活性化、ひいては町の活性化のためのチャンスと考えるが町長のお考えは。

**町長** 現在アルルで事業を行っている事業者、新規参入者及び利用者と調整を図り、大いに前向きに捉えていきたいと考えております。



商店街の様子

# 問 施設等での定期PCR検査等の拡充は

答 町民課長 検査等助成事業に含まれると思います



渡邊 晃子議員

## コロナ対策

### 現況について

**問** 新型コロナウイルス対策検査費等助成制度、町民の中には知らない方が多い。なぜもっと広報しないのか。

**町民課長** 子どもさん等が帰省される少し前のポイントで、防災無線などで広報して参りました。第5波、県境を越える移動は控えようというなかで、帰省を促すことはできない状態になってしまったというところでございます。非常に残念でありました。

**渡邊議員** 帰省するお子さん方のためだけの制度ではないはず。普段から不安のある町民の皆さんのためのものもあるのでは、もっと広報をお願いしたい。

**問** 未就園児のお子さんがいるご家庭で、近くに祖父母もいない場合、ワクチン接種後の副反応が不安、負担になるというお話を伺っている。保育園での預かりはどうか。

**子育て支援課長** 事前にご相談をまずして頂いて進めさせて頂きたいと思っております。

**問** 保育園だけでなくとも、ぜひ体制を整えて頂きたい。又、一時保育は1日2500円と大きな負担。全額とはいかなくとも、コロナ対策で補助できないか。

**町長** 検討させて頂きます。

## 子ども達の状況について

**問** 小中学校での定期検査は

**教育長** 大変デリケートな問題が絡んできますので、現状やる気はございません。まず大原則は、発熱したら登校させない、発熱したら連絡するのですぐに迎えに来てくださいます。きちんとしてほしい病院があるので発熱外来へ出向いていただく。これが一番の基本だと考えております。

## 事業者支援は

**問** 実態に即した対応ができているとお考えか。

**産業建設課長** これで十分と

いうことにはなっていない程度はあったと評価しております。

**問** またコロナ対応としてプレミアム商品券が出ている。お金に余裕のある方は沢山買える仕組み。幅広く今までを振り返り、町民の声を聴いての政策か。

**産業建設課長** 町民目線で考えますと、なるべく全員が買えればよかったかと思いますが、事業者に重きを置いた政策と評価しております。



# 問 住民への防災教育に防災センター設置を

答 町長 再度検討させていただきます



的埜 美香子 議員

災害に強い町づくりへ

**問** 地域防災計画の進捗状況は。

**町民課長** 自分達の地区は自分達で守るという意味で作成に取り組んでおり、年度末には13地区が完成見込みです。町全体を整備したい考えです。

**問** 高齢者率が大変高く、一人暮らしも多い。障がい者や小さいお子さんがいる家庭では共助が特に重要になってくる。避難誘導など地域での素早い行動をどうするか、詳細

な初動マニュアルが必要では。

**町民課長** 地域の皆さんの判断で早期の避難が大切。今、行っている避難行動支援者名簿を地域支え合いマップと一緒に活用し、支援が必要な方など事前に避難準備を行い、災害から身を守ることになる。

**問** 地域防災活動を進めるには、住民への防災教育が必要。地域の災害観を頭に入れて、住民自身が答えを見つけていく。リーダー養成講座や常に意識することが出来る防災センターを作ってはどうか。

## 町の気候危機対応は

**町長** 常に意識を持ち、先手を取る事は大事だと思います。防災センターについては、唐突ですので、再度検討させていただきます。

**問** 長期振興計画を見た時に、この問題の危機感、緊急性が感じられない。町として出来ることは何か。

**町民課長** 自治体、農林団体、民間企業、家庭それぞれの皆さんが、気候危機、温暖化に対し、対策と努力に力を注ぎ、意識をしていくことが大切です。

**問** 町民の中には、自然エネルギーの活用の研究をされるのをお持ちの方もいらっしゃるのでは。専門部署を設け、専門的な課題として取り組む必要があるのでは。

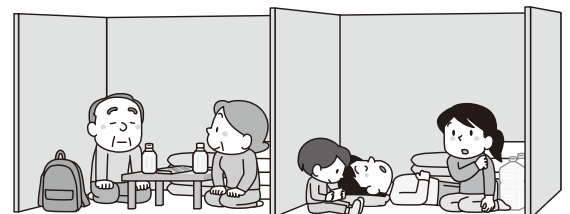
**町長** CO<sub>2</sub>削減に結びつくようなものをたたき上げ、そういった部署との整合性をとり、

検討させていただきたい。

## 3年目の決算を迎え

**問** 「元氣な小海町づくり」は進んだか。

**町長** 翹うまちこうみの成果では、善の循環が人間の生きざま、政策の持つて行き方の基本で、元氣な町は元氣な町民をつくり、さらに元氣な町をつくる、この循環がうまく回ることが元氣で強い町を作るのではないかと思つた。



# 問 魅力のある駅前開発をしてほしい

答 町長 駅舎、アルルは有効活用していきたい

**問** 今のこのコロナ禍は人間がより便利に、より速く、より豊かにを追い求め、大量生産、大量消費で経済性、効率性を優先した急ぎ過ぎた社会の生き方の見直しを訴えているのではないかと思えます。東京への一極集中が人と人との関わり、人と自然との関わりなどが希薄化してきたのだと思います。田舎のよさは人の顔が分かること、声が聞こえること、つながっていることです。人は人とのつながりコミュニケーションを求めています。ぜひ人と人がつながる場所を駅前に作って欲しい。



品田 宗久議員

小海町高原美術館が1997年に開館して、24年間の間に関係を築いてきたアーティストには、アニメ、写真、絵本作家などがいます。また所蔵作品には新海誠さん69点、島岡達三さん37点、栗林今朝男さん103点、谷本清光さん119点、井出陽一郎さん122点、油井正次さん85点など合計で729点あります。このアーティストと所蔵作品を活用して、駅を文化的施設にアルルを商業的施設プラスコミュニケーション的施設として魅力ある駅前開発をして欲しい。

**町長** 検討委員会があるので、その中で提言をいただいで、細かい仕様については議論いただくという形になるうかとは思いますが、何としても駅舎、そしてアルルは有効活用していかねければいけないというのが私の考えであります。

**問** 買い物の楽しみがない町は町としての魅力がありません。アルルが町民誰もが集うことできる拠点としての役割と食料品などを買えるコンビニなどの機能を含めた商業施設として存続し、駅前商店街の核となるように進めて欲しい。

**町長** 駅舎とアルルこれは一貫性のあるものとして、方策を考えるべきではないかと思っております。

**品田議員** 君の椅子事業について、これは誕生した生命に居場所としての椅子を贈ろうという事業です。木の小さな君の椅子は座る機能は、6、7年でもその役割は一生ものです。生涯に寄り添い続けるものを持っていることの意味、その思い出の力が人生の道に勇気を湧き上がらせてくれて町を愛する心につながっていくと思えます。



現在の小海駅前

# 問 持続可能な農業を

答 産建課長 関係機関と協議し研究して参ります



井出 幸実 議員

**問** 高原野菜農家も花卉農家も連作障害で苦しんでいます。最終手段である土壌消毒等に対応しています。地力の低下は目に見えています。対策の一つとして、有機堆肥を施しているのですが全ての堆肥について町の助成はできないですか。

**問** 地力の低下によって、後継者に胸を張って渡すことができない、農家の皆さんができることは堆肥を入れる、特にできれば植物性の堆肥、牛糞堆肥を入れることで土壌改良につながる、そして持続可能な農業のために是非全ての堆肥に助成をお願いしたい。

**産建建設課長** J Aと相談していますがが農業者の皆さんがどんな堆肥を使用しているか、実態も把握していませんし、土壌に対してどのようにしていくか実践が行われていない現状であります。

**産建建設課長** 連作障害について、今後どういった方向が良いか、そして土壌改良にどのようなものを投入することで改良が図られ、病気がなくなり、生産性が高まるのか関係機関と協議の上研究して参

ります。

**問** 今農業生産現場が元気をなくしている。農業の持続的な発展のために、中小・家庭・農業経営に対する支援を厚くし、小さな畑を耕している高齢者の皆様など、多様な担い手に対する行政からの支援が大切ですがお考えをお願いします。

**町長** 国は農家の大規模化を図ってきました。その中で小規模の皆さんは大変苦勞をしているわけです。国・県の事業は実施しています。補助として単独では鹿柵・ビニールハウス設置等があります。鞍掛豆、ソバを作っていました。全量買い取りという施策をしています。是非、小規模農家の皆さんに頑張っていたくださいと考えています。



# 問 カラマツ林再造林補助事業の推進を

答 町長 再造林の必要性を広報していきます



井出 和人議員

**問** 町内のカラマツ林の多くが伐期を迎え、カラマツ林に関心が出ています。新聞等にも「ウッドショック」だとかカラマツ林の値上がり等が報道されています。町には、林政アドバイザー職員がおりますが、何を目標とし、現在は何をしているのか。

**産業建設課長** 林政アドバイザーの制度は、平成29年度から創設されており、林政全般にわたる仕事を行っています。森林整備、林道整備、県有林有害鳥獣害等林政全般を担当しています。中部森林組合と

協定し、林政行政推進を目的に、派遣していただいております。令和元年度から「森林経営管理制度」がスタートし、森林所有者の伐採、造林保育など、経営管理の意向調査も対応していきます。

**問** 大面積の伐採は、災害発生の可能性があります。水源涵養林及び危険地帯での伐採を規制する考えはありますか。

**産業建設課長** 今後一度に、多くの面積が伐採される事は予想されますが、災害を考えた施工業者と調整をしながら計

画的に実施していきます。

広く認識されていないのでは。

**問** 再造林事業について、今、再造林事業は、二つの事業が推進されています。  
①主伐後の再造林十年保証制度  
②分収林造林制度  
前年度の再造林補助申請件数は何件ですか。補助制度が

**産業建設課長** カラマツ林嵩上げ事業として、件数は20件、面積は50ヘクタール実施しました。再造林の必要性、山に関心を持ってもらうために、広報が必要と思います。「広報こうみ」に掲載していく計画です。



問

# 最終処分場建設計画 本間区は反対 町の考えは

答

町長 区の総意が反対なら総意を重んじます



篠原 哲雄議員

一般質問

**問** 小海リサイクルセンター跡地の最終処分場建設計画本間区は、反対で決議、町へ要望書を提出し、町より地元区の同意がなければ、建設計画は進めませんという回答があり、町長に確認ですが、処分場なしということ为宜しいですか。

**町長** 区の総意が反対なら総意を重んじてなしということ結構です。

**問** 町内他地区に公募で処分場建設を募る意向があるのか。

**町長** 小海町の中で受け入れてもいいという区の総意がありましたら、チャンスだと思っています。

## 残廃棄物処理

### 検討委員会設置

**問** 町より残廃棄物処理検討委員会を立ち上げたいと両区へ申し出があり、委員会は町にある検討委員会と同じ位置づけになるのか、メンバーは。

**町民課長** 残置物の処理片付けを目的とする検討委員会の準備会のような形式で弁護士

に相談したところ、実行委員会的組織が良いと。メンバーは地元区、県、町、専門的識者の方。

**副町長** 地元、町、法律的な意見からどうすれば良いか検討する会議が必要で、町長が委嘱する委員会ではなく、実行委員会形式が良いと思います。

**篠原議員** 各区各機関と調整して早めに進めていただきたい。

## ワインブドウ栽培について

**問** ブドウ栽培の現況と今後の栽培計画、品種選定について、計画立案はできているか。

**産業建設課長** 試験栽培の品種は問題なく生育しています。今年度は、笠原地区でも行っており、品種が育つか、ワインにした時の味はどうか2段階で評価していきたい。ワイナリーは、令和8年から令和10年ぐらいの予定。

**問** 先般、私は、富士見町役場を訪問し、ワインブドウ栽培の取り組みについて伺ってきました。4年目になります。農家への支援がしっかりされています。小海町の補助制度は。

**産業建設課長** 補助制度は、来年度から創設します。

**問** 地域おこし協力隊4名の任期後の支援は。

**産業建設課長** 認定新規就農者になる交付金を調べます。

**問** 集落支援事業は50万ですが、増額していただきたい。

**町長** 議会で認めて頂ければ、100万円に戻す考えはあります。

契約議決

◆建設工事請負契約の締結について  
大畑町営住宅建設工事

指名競争入札により(有)陸大が9千438万円で落札したのに伴い、建設工事の請負契約の締結をするものです。

全員賛成で可決

道路改良工事(大畑)

指名競争入札により(株)黒澤組が5千115万円で落札したのに伴い、建設工事の請負契約の締結をするものです。

全員賛成で可決



町営住宅建設予定地



道路改良工事予定地

# 議会を傍聴してみませんか

## 次回定例会は 12月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。



車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。

また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。



小海町議会

検索

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2578にお問い合わせください。

## 編集後記

新型コロナウイルスもワクチン接種が進むにつれ感染者も減少傾向にあります。小海町のコロナワクチン接種も順調に進み、11月中には終了見込みです。

9月定例会では、令和2年度小海町一般会計及び特別会計の決算が審議認定されました。

新人議員にとつては初の決算議会ですが、個々に資料の勉強をして臨んだ議会だと思えます。

最近各地で水害・土砂災害が多発しております。今議会で小海町避難行動要支援者名簿に関する条例が制定されました。

万が一の時には地区自主避難計画と合わせて活用して欲しいです。災害は、いつ来るか分かりません。常に災害に備え、自分の命は自分で守ることを心掛けていただきたいと思います。

- (編集委員 篠原 哲雄)
- 編集責任者 有坂 辰六
  - 編集委員長 小池 捨吉
  - 編集委員 的埜美香子
  - 編集委員 篠原 哲雄
  - 編集委員 鷹野 文則